

東日本大震災

じちろうNEWS

発行所

自治労地震対策本部
東京都千代田区六番町1
TEL 03-3263-0262
FAX 03-5210-7422

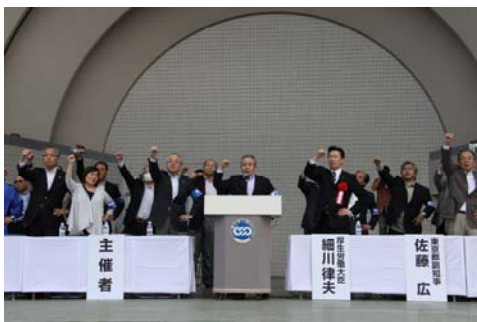
3月11日に発生した地震により、被害を受けた全ての皆さまに心からお見舞い申し上げます。自治労は今回の未曾有の大災害に対し、被災された県本部・単組と十分な連携をはかり、自治労組織を挙げて全力で可能な限りの支援を行います。3月30日に決定した「自治労復興支援活動計画」に基づき4月11日から被災地支援行動を開始しています。現在は第4グループ307人が支援活動を展開中です。

活動報告

自治労支援活動は岩手班の活動が一般紙でも紹介されるなど反響を呼んでいる。兵庫県神戸市のだいいち小学校で勤務する学校用務員が宮城県に現地支援に入ることを知った同校の小学生が近隣の2校にも声をかけ、被災地の小学生にカルタと寄せ書き、DVDのメッセージを作成した。第3グループで宮城において支援活動を行っている神戸市従の田口さんらが宮城県のゆりあげ小学校に届けた。



第82回メーデー中央大会 「東日本大震災救援大集会」



第82回メーデー中央大会が4月29日、東京・代々木公園で開催された。東日本大震災の被災地に配慮し、救援集会と位置付け、恒例のデモやイベントは中止し、規模を縮小しての開催となった。参加者は約9千人だった。

古賀連合会長はあいさつで「かつて経験したことのない国家的危機を、与野党の垣根を超え、地方自治体や官民の総力を挙げた、オールジャパンで乗り越えよう」と主張。また、「被災地には事業再建が極めて困難なところもあり、復興事業もふくめて（政府が）雇用機会の創出を行わなければならない」と訴えた。

集会会場では、風評被害に苦しむ農家を支えようと、被災地産の野菜が販売されたほか、救援カンパの呼び掛けも行われた。

(写真左上) ガンパロー三唱を行う徳永・連合会長代行

(写真左下) 茨城県産の野菜を買い求める参加者